

NAGASAKI UNIVERSITY

IT RECURRENT EDUCATION



長崎大学情報データ科学部

IT先端技術応用講座

社会人向け | 2022年度 総覧



長崎大学情報データ科学部
〈社会人向け〉IT先端技術応用講座事務局

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14

TEL:095-819-2570

E-mail : it-recurrent@ml.nagasaki-u.ac.jp

Homepage : http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/it_recurrent/index.html

Twitter : <https://twitter.com/itrecurnagasaki>

ホームページは
こちら



Twitterは
こちら



社会人向け | IT先端技術応用講座

概要

長崎大学情報データ科学部では、IT先端技術やビジネスモデルに関する実践型教育プログラムを立案し、地域密着型のコンパクトで密度の高い実践型教育プログラムを提供しています。長崎県からの受託事業として、社会人向けのリカレント教育である「IT先端技術習得講座」を平成30年度より3年間、「IT先端技術応用講座」を令和3年度より開講しています。

本年度もこれまでの実績と成果を活かし、基礎技術的内容に加えて実践的な実装方法の習得によるソフトウェアシステム開発のプロジェクトリーダー育成を目指すカリキュラム構成にしました。

これまでの5年間で延べ183名が受講し、うち37名が履修証明書を取得されています。さらに、3名が工学研究科の社会人博士課程(小林研究室)に進学され、長崎県でのITリーダーになるべく高度な技術習得に挑戦されています。

対象

原則として、長崎県次世代情報産業クラスター協議会(※1)に加盟する企業等の技術者(※2)。今年度からは、長崎県居住支援の一つとしてリモートワークによる長崎県移住者、及びワーケーションによる長崎県利用者も受講も可能です。

(※1)長崎県次世代情報産業クラスター協議会(事務局:長崎県新産業創造課)への入会については、以下の県ホームページをご覧ください。(入会金は無料です。)<http://www.pref.nagasaki.jp/object/kenkaranooshirase/oshirase/340488.html>

(※2)県内に事業所を置く企業・団体の技術者を優先とします。

受講料

無料。ただし、補助教材費(3万円)は別途必要。

履修証明プログラム

履修証明プログラムとは、学校教育法に規定された履修証明制度に則った教育プログラムです。社会人を対象とし、多様かつ高度な、職業上に必要な専門的知識・技術取得のニーズに応えるなど充実した内容で、大学の研究資源を活かし、一定の教育計画の下に構成されています。プログラム修了者には、大学から学校教育法の規定に基づくプログラムであること及びその名称等を記載した履修証明書が交付され、履歴書に学歴として記載することが可能です。また、大卒(4年制)の資格があり修士の資格を保有しない方が、長崎大学情報データ科学部の社会人博士課程への入学を希望する場合、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認定を受けるための根拠資料の1つになります。

IT先端技術応用講座では、基幹講座に分類される以下の4講座をすべて修了された方へ履修証明書を交付しております。

AI活用講座：
データサイエンスの
基礎と実践講座(P3)

大規模プロジェクト
マネジメント講座(P4)

デザイン思考
アプローチによる
顧客価値創出講座(P5)

Javaによる
並列分散システム
開発方法論(P6)

本講座との出会いをきっかけに社会人ドクターへ挑戦されている方々がおります。家庭や仕事とのバランスを図りながら、“学びを止めない”その姿勢に感服です。

今年度の目玉

新コンテンツ 「テクノ・スクランブル」

毎月変わる長崎大学情報データ科学部講師陣の研究テーマに沿って理解を深め、長崎ならではの情報データ技術活用について意見交換する受講生参加型の講座を実施しました。

データ分析 講義の充実

「AI活用講座」に加え、データ分析の技術を習得できるようにR言語を用いた実践的な演習として、「予測モデルの解釈講座」と「統計的因果推論講座」を追加しました。

新基幹講座「Javaによる並列分散システム開発方法論」

Javaの特徴である並列処理、分散処理の基礎概念からプロセス間通信に関して、その理論及びJavaでの実践的な実装方法を習得する講座を新設しました。

SCHEDULE

受講生募集

4月より

ガイダンス

5/28

基幹講座

AI活用講座：
データサイエンスの
基礎と実践講座

6/2 木 ~ 9/22 木
全15回

P.03

大規模プロジェクト
マネジメント講座

6/7 火 ~ 10/4 木
全15回

P.04

デザイン思考
アプローチによる
顧客価値創出講座

10/8 土 ~ 11/26 土
全8回

P.05

Javaによる
並列分散システム
開発方法論

10/11 火 ~ 1/25 水
全15回

P.06

特別講義1

予測モデルの解釈講座

7/9

P.07

一般公開講座1

「IoTを活用した地域課題への取り組み」
~人と環境の調和に向けて~

8/6

P.09

特別講義2

先端Webアプリケーション開発方法論

10/1

P.07

一般公開講座2

IoT/AIが拓げる次世代情報協働
栽培システムの可能性

10/29

P.10

特別講義3

統計的因果推論講座

12/3

P.07

特別講義4

メタバース環境「UPDATE」講座

12/23

P.08

テクノ・スクランブル

6/17 金
12/16 金
全7回

P.11-12

成果発表会

1/27

P.13-14

アンケートまとめ

P.15-16

ごあいさつ



長崎大学情報データ科学部
学部長

西井 龍映

IT先端技術応用講座による長崎県の活性化

昨年度からリスタートを切りました「IT先端技術応用講座」には、おかげさまで定員を超える申し込みがあり、情報データ科学部講師陣により無事に実施できましたことを心から嬉しく思っております。

今年度は、Python、Java、R言語などプログラミング言語に力を入れ、同時にデータ分析技術を習得できるような構成にしました。また、技術と人との交流を目的に企画しましたテクノ・スクランブルでは、本学部講師陣の提示する研究テーマに基づいて参加者全員で意見交換を行いました。地域の抱える課題解決に向けたアイデア創出の場となり、密度の濃い有意義な時間となったのではないのでしょうか。講師陣にとってもさまざまな業種の方々と交流は、今後の教育・研究活動における大きな刺激となりました。

さて、今年度の受講生は目的意識が高く、積極的にディスカッションを行い、切磋琢磨している姿が印象的だったと伺っております。それをご家族や職場のご理解、ご協力があったことだと思っております。本講座を通して得た知識、技術、人脈を活かし、各々の分野でITリーダーとして益々活躍され、ひいては、長崎県の地域産業活性化や人材育成等に貢献されますことを期待しております。

最後になりましたが、本講座の実施にあたりご尽力を賜りました長崎県および受講生の皆様、受講を認めてくださった企業の皆様すべてに厚く御礼申し上げます。



長崎県産業労働部
新産業創造課
課長

香月 康夫

本県における高度情報系人材の育成について

AI・IoT・ロボット等の先端技術を活用したイノベーションにより、世界中で革新的なビジネスやサービスが生み出されている中、本県でも様々な産業分野への先端技術の普及を図るため、高度専門人材の育成や企業間連携の促進等の施策に取り組んでおります。

その一環として、県では2021年度から技術者向け「IT先端技術応用講座」を長崎大学に委託して実施しております。これは、2018年度から3年間実施した「IT先端技術習得講座」をさらに深化させ、大規模プロジェクトを担えるリーダー人材の育成を目指し、習得技術の応用実践と新規ビジネスの創出、プロジェクト遂行・管理能力の向上に重点を置いた内容となっております。本年は、新たに大規模システムの開発方法や、新規アイデア創出を目的とした受講生参加型の講義等に加え、長崎大学をはじめとする関係者皆様のご協力のもと、多くのご参加をいただきました。受講された皆様におかれましては、習得技術を活かし、社内における先端的なプロジェクトのリーダーとしてご活躍されることを期待いたします。

県としましては、今後も県内企業の技術力強化につながる専門人材の育成を進めるとともに、DX推進や企業間連携に対する支援等、先端技術の活用や事業拡大、新たなサービスの創出等に取り組んでまいりますので、引き続き、県の産業支援施策にご協力をいただきたくお願い申し上げます。

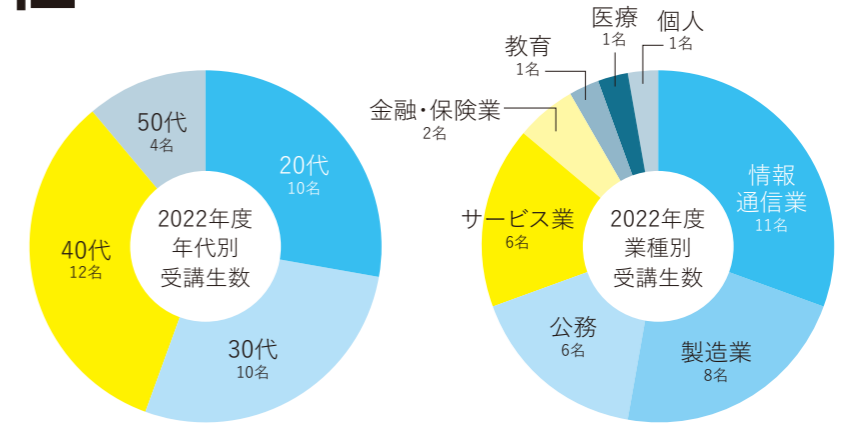
末筆ではございますが、本講座の実施に際し、ご支援、ご協力をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

2022年度〈社会人向け〉

IT先端技術応用講座情報

受講生属性

今年度は、36名の方が受講されました。履修証明プログラムに取り組み方だけではなく、興味のある講座のみ受講する方もいらっしゃいました。受講生の年代や業種は円グラフをご参照ください。



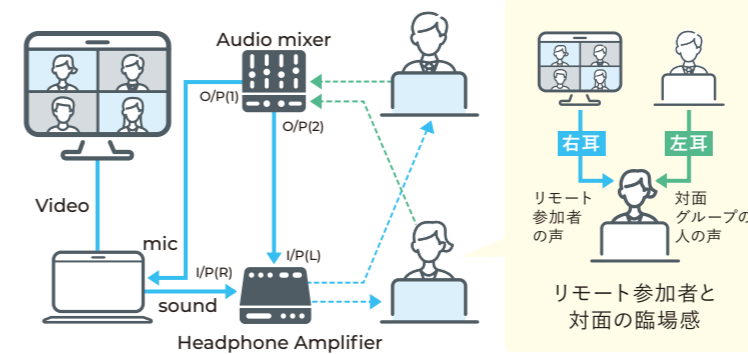
受講動機

- ・ スキルアップ
- ・ 履修証明書の取得
- ・ Python、Javaなどプログラミング言語の習得
- ・ 自身でAIプログラムの作成ができるようになりたい
- ・ 県内の多種多様な業界から参加される受講生との交流
- ・ 県内中小企業に対するDX導入支援に役立てたい
- ・ 社内や長崎のDX化につなげたい
- ・ DXを活用して、地域経済、地域活動を活性化したい

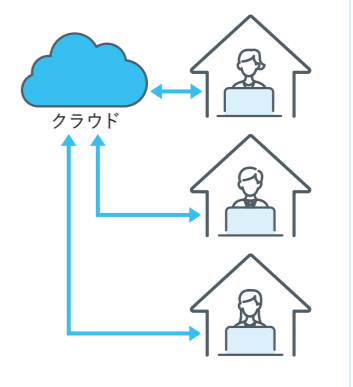
授業体制

ハイフレックス授業方式(下左図参照)を採用しています。教室内のヘッドセットは、左耳から『教室内の生徒』、右耳から『オンライン生徒』の音が聞こえます。ヘッドセットのマイクには指向性があり、本人以外の声を拾いづらく発言者の声が聞き取りやすい環境です。グループ毎に設置した大型モニターでお互いの顔を見ながら、一つの資料を共有することで臨場感あるグループワークができます。また、復習や欠席に対応できるよう、授業動画をオンデマンド配信することで受講生自身のご都合に合わせて視聴できる環境(下右図参照)を整えました。

ハイフレックス授業方式



eラーニング



AI活用講座： データサイエンスの基礎と実践講座

概要 人工知能を活用するための基盤技術であるデータサイエンスについて学ぶ。
〈座学・データ分析実習〉

日時 6/2(木) ~ 9/22(木) 18:00~20:00

全15回



Pythonは多機能な電卓!



YUTA UMEZUMI

講師 梅津 佑太 准教授

受講生の様子

学生よりも真面目でモチベーションが高い。この講座を受けなくてもいいのでは?というくらい知識がある方もいたが、手を動かして実装できるかどうかは別問題。

感想
「講座を終えて」

4講座の中では一番難しいとは思いますが、真面目に課題を提出して下さった方々はきちんとできていた。時間をかければ、実装できる方が多いのかな。実装に落とし込むまでの考え方だけでも上手く伝わってればいいなあ。実装そのものは難しいが、人がモデルを作らないといけなくて、バグった時の対処法も含めて伝えたかった。もっとデータサイエンスや深層学習中心の講座内容にしたかった。時間が足りなかった。飽きるまでやりたい。

受講生への
エール

一朝一夕で理解できるものではない。すぐに新しいことができるというわけではないが、機会があればまたこういう経験を思い出してやってもらえるといいかな。上手くいかなかった時に「こうしてみよう!」というきっかけになれば…数学の力はすごい。Pythonは多機能な電卓!現象を整理する、モデルを作るなど論理的思考や発想と相性が良いので、数式アレルギーの方は、数式は気にせず、実装の目的や実装のやり方だけでも記憶に留めてくれたら…怪獣がやってきたというわけではなく、かわいい猫がやってきたとらえてくれれば…。

受講生の声

STUDENT VOICE

の声

- ディープラーニングの概念(考え方、実装のやり方など)について理解することができました。
- 録画を残していただいていたおかげで何度でも振り返ることができました。講義は終了しましたが、まだ理解できていないところがありますので、今後も見返しながらできる限り自分のモノにできればと思っています。
- 数学的内容が濃くて、授業内容を理解するのが大変でした。AIはまだまだ発展していくと思うので、さらに勉強していきたいと思います。
- 自分自身もAI開発を部下と研究しています。今回の授業で数式を理解できた訳ではありませんが、今までと異なり部下がやっている業務の流れが理解でき、部下の話している内容を理解でき、より深い議論ができるようになりました。

大規模プロジェクト マネジメント講座

概要 お客様とのコミュニケーションを活かした要求分析方法や実践的なドキュメンテーション技術について学ぶ。〈座学・実践の実習〉

日時 6/7(火) ~ 10/4(木) 18:00~20:00

全15回



共感性が重要!



TORU KOBAYASHI

講師 小林 透 教授

受講生の様子

皆さん、積極的で問題意識が高く、反応がとてもよく授業しやすかった。たくさん質問していただき双方向の授業ができた。講師の話聞くだけの一方的な授業よりも同じ立場の受講生の意見を聞くことで気づきにつながるため、グループワークを大事にしている。

感想
「講座を終えて」

達成感!満足感!

受講生への
エール

プロジェクトを遂行していると、目的と手段が入れ替わってしまうことがあるので、定期的に見直す必要がある。その際、課題を共有・共感し、対話により打開策を生み出していく。社内のマネジメントで大事なものは、共感を得られるかどうか。問題意識・学習意欲共に高いので、今後も自信をもって業務を遂行してってください。

受講生の声

STUDENT VOICE

の声

- 自分が求めていた部分を解説していただき、よりプロジェクトへの踏み込みができるようになったような気がします。
- 様々な出自や職種の方々とディスカッションする事によって生まれる気づきと、それに必要となるコミュニケーションやシンパシーの能力について実感、体験する事ができた。
- ベテランにも若手にも生きる内容で、是非社内の他の技術者にも受講してほしいと思った。
- チームで開発を行うためにどのような考え方で取り組めばいいのか、例をもとに自分でまとめながら進めていくことでわかりやすく感じました。

デザイン思考アプローチによる顧客価値創出講座

概要 デザイン思考を実践する能力の習得、実践する上で重要となるワークショップの企画・ファシリテーションについても学ぶ。(座学・グループワーク)

日時 10/8(土) 13:00~17:00、10/13(木)~11/17(木) 18:00~20:00 全8回
11/19(土)、26(土) 9:00~18:00



内容が難しいというよりも『普段考えないことを考える』という思考パターンが難しい。



TOMOCHIKA OZAKI

講師
尾崎 友哉 教授

受講生の様子 今年度も問題意識があり、『何を学ばなきゃいけないのか』、『何が必要か』が見えているので、やる気がものすごくあって非常に熱心に取り組まれています。

感想「講座を終えて」 無事にやり切ることができて良かったです。受講生の期待に充分応えられたかなあ、役に立ったかなあと感じているところです。受講生から「対面で議論することが最近少なくなっているの、いい経験になった。」と聞けたので、ワークショップについては対面重視で実施して良かったかなと思っています。ただ、オンラインで参加する受講生もおられます。情報量がかなり落ち、ノンバーバルな部分(表情や身振り、手振り)のコミュニケーションが密に取れない状況でも上手くワークショップが実施できるよう探っていくとか、まだまだ工夫の余地があるなあと悩んでいるところです。

受講生へのエール デザイン思考を実践できるかどうかが一番の課題。実際にやってみて役立つというところまでいくと、この講座をやった甲斐があったかなと思います。どれだけ実際の現場で役に立つか、受講生各々の業務に少しでも役に立つと一番嬉しいです。具体的な人の体験をベースに、その人の課題をみつめて考える、そして形にすると、そこから新たなアイデアが浮かぶと思います。受講生の皆さんには、本講座で得たことをまずはやってみてほしいと願っています。Do it now!

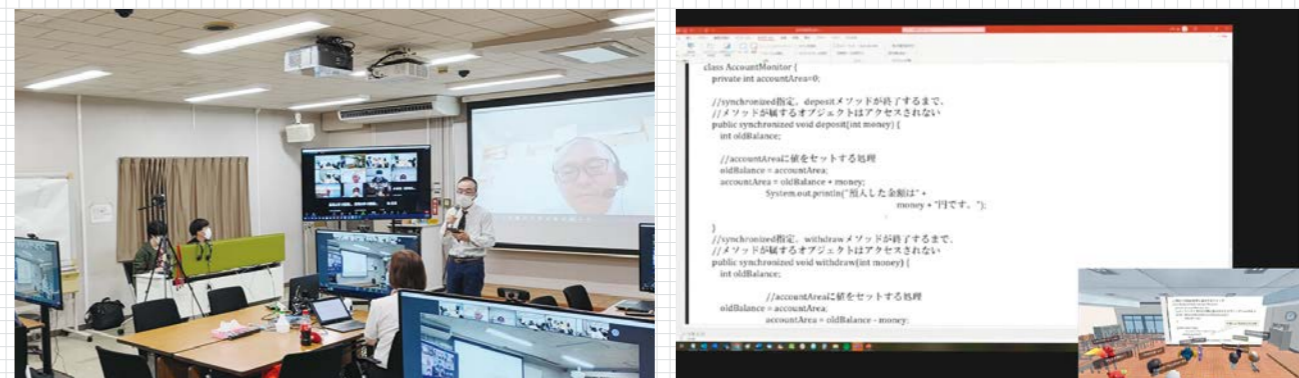
受講生の声

- 書籍、ネットからインプットするだけでなく、実際にやってみる=アウトプットすることが大事だという気づきを得ました。使い続けなければ、思考はアップデートできないばかりか、劣化していく一方なので、本講座で得たものは常に意識しておきたい。
- イノベーションを起こすために、チームでどのように思考を組み立てていけば良いかを学べて非常に有意義でした。
- デザインと聞くと、見た目のデザインを想像してしまいがちなのですが、全体的な企画やテーマを具体化するために、何をどう考えればいいのか、手法や考え方を改めて学べて楽しい授業でした。
- デザイン思考のプロセスや考え方を学ぶだけでなく、実践を重ねることで自分のスキルにすることができたと感じている。
- 早速仕事を新事業の模索の為にアプローチとして使用しています。

Javaによる並列分散システム開発方法論

概要 並列処理、分散処理で必須となる排他制御や同期制御、プロセス間通信に関して、理論とJavaでの実践的な実装方法を習得する。(座学・実践的実習)

日時 10/11(火) ~ 1/25(水) 18:00~20:00 全15回



オブジェクト指向は重要な概念!



TORU KOBAYASHI

講師
小林 透 教授

受講生の様子 皆さん、熱心に受講されていた。積極的に問題意識を持ちながら、何か吸収しようという意欲にあふれていた。

感想「講座を終えて」 C言語等のプログラミング経験やアプリ開発経験者は取り組みやすかったと思うが、プログラミング未経験者にとっては少し難しかったかもしれない。サンプルプログラムを提供してビギナーの方にも何が大事か、ポイントがわかるように講義できたという満足感はある。欲を言えば、もうちょっと参加人数が多いと、受講生同士のコミュニケーションが活発になって良かったかなあ。また、授業振替により時間が空き、その間に学習内容を忘れてしまっていたので、週末などを利用した集中講義にした方が効果的だったかなあと反省。ハイフレックス方式とメタバース環境で講義したが、メタバースの方が慣れれば機器トラブル対応の必要がなく、どこに居ても講義できるため実施しやすかった。

受講生へのエール 受講生全員がJavaのプログラミングを仕事で使うわけではないと思うが、プログラミングの考え方は参考になるのでは?実際にプログラミングを組まなくても、その知識を活用・応用して、少しでも実務に活かしてもらえたら嬉しい。プログラミングスキルは大事だが、一番大事なのはそのスキルを使って何をやるか?あくまでも『スキル=解決するための手段』なので、目的は?解決したい課題は?としっかりと見極めた上で具体的にプログラムを開発し、スキルを磨いていって下さい。目的指向で取り組んでいくと、自ずとプログラミングスキルも向上していく。

受講生の声

- 新しい知識を得られて大変有意義でした。
- オブジェクト指向についての考え方、セマフォや排他制御がよくわかりました。
- コミュニケーションにおける心理的障壁が、かなりハードルが低くなったような気がしました。アバターを介してのコミュニケーションのため、コミュニケーションに自分のコストを割かなくてよく、より集中・リラックスして授業を受けられた気がします。
- これまで未経験だったプログラミングについて、心理的ハードルを下げてくださいました。
- 受講当初は授業についていけない気が全くなかったのですが、今では基礎を習得したと胸を張って言えるくらい自信ができました。偏に先生、スタッフの皆さん、受講生の仲間のおかげです。

特別講義
1

予測モデルの解釈講座



YU ICHIFUJI

日時 | 7/9(土) 10:00~17:00 [休憩12:00~13:00] | 講師 | 一藤 裕 准教授

概要 | ビッグデータの分析方法として、従来の統計的手法によるデータ分析手法と機械学習によるモデルの解釈の仕方について学習する。(R言語)

受講生
STUDENT
VOICE
の声

- いままで、言葉で説明できなかった機械学習を可視化できる方法があることが分かっただけでも役に立った。今後、活用していきたいと思います。
- ついていけない不安でしたが、非常に丁寧にわかりやすく講義して下さい、大変参考になりました。

特別講義
2

先端Webアプリケーション開発方法論



TORU KOBAYASHI

日時 | 10/1(土) 10:00~17:00 [休憩12:00~13:00] | 講師 | 小林 透 教授

概要 | 事例紹介と要素技術、設計方法論から具体的なクラウドAPIの利用方法まで解説し、先端のWeb技術を応用したアプリケーションを構築できるスキル獲得を目指す。(HTML5、JavaScript、PHP)

受講生
STUDENT
VOICE
の声

- 10:00~17:00の7時間は、半分の3時間程度に感じられるくらい濃くてワクワクした時間だった。
- WebSocket は実際に動かしたことがなかったので、動くものを作る機会があってよかったです。

特別講義
3

統計的因果推論講座



MASAYOSHI TAKAHASHI

日時 | 12/3(土) 10:00~17:00 [休憩12:00~13:00] | 講師 | 高橋 将宜 准教授

概要 | 潜在的結果変数の枠組みによる統計的因果推論の仕組みを理解し、応用例を通じて実践する方法を学習する。(R言語)

受講生
STUDENT
VOICE
の声

- 知りたかった因果効果の検証方法をすべて有意義だった。講義内容も丁寧でとても良かった。
- とても面白かったです。高橋先生の講義がまた開催されるならば、ぜひ参加したいです。

特別講義
4

研究動向報告 メタバース環境「UPDATE」講座



KAZUKI FUKAE

日時 | 12/23(金) 13:30~15:30 | 講師 | 深江 一輝 [情報データ科学部 戦略職員(URA)]

概要 | 最新技術による3Dアバターの製作紹介、メタバースでの講座体験などを通して、新しい授業スタイルの在り方を探る。

情報データ科学部 リスキングのためのメタバース環境「UPDATE」の運用開始!

概要 |

Web3.0の一つとして、今後の拡大が大きく期待される「メタバース」での授業環境「UPDATE(※1)」を構築し、社会人向けリスキング(※2)講座「IT先端技術応用講座」に運用開始した。「UPDATE」は、時空を超えた最先端の教育環境であり、これまで以上に、県内IT技術者のスキルアップに貢献する。

注釈) ※1:「UPDATE」:教育環境をアップデートし、スキルをアップデートするという意味で命名。
※2:リスキング:業務と並行しながら学ぶこと。



1月19日 学長定例会見にて

「IT先端技術応用講座」への導入メリット

- ☑ グループディスカッションができる!
同じ空間にいる仲間が集まってフレンドリーに会話ができる。
- ☑ 気軽なアクセス!
アプリインストールは一切不要!ブラウザだけで動作するため、受講生が気軽にアクセスできる環境を提供できる。
- ☑ 簡単に情報が見つかる!共有できる!
空間を移動するだけで、欲しい情報が簡単に見つかり、仲間と共有できる。



[講堂] 講演会に参加している感覚になります



[休憩室] 受講生同士、気軽に雑談できます



[アーカイブ室] 授業動画を自由に観覧できます

受講生
STUDENT
VOICE
の声

- 3Dのモデルを見られるのは臨場感がありとても良かったと思います。
- メタバース空間では、自分の動きをうまく制御できずにジタバタしてしまいました。
- メタバース環境と呼ばれる場所での講義はまだ課題が多い。
- ストレスなく、授業内容を理解できる環境でした。
- 初めてのメタバース空間体験でしたが、こんなにも視覚的に操作ができることに、とても感動しました!!ヘッドセットを装着して、今後技術が発展していくと、現実世界と同じような空間(映画のレディプレイヤーのよう)になっていくのかなと思いました。

「IoTを活用した 地域課題への取り組み」 ～人と環境の調和に向けて～



HIDEYUKI TAKAHASHI

講演概要

近年当たり前のように生活に溶け込んできているIoT機器が、今後の地域課題解決へ向けてどのような役割を果たすのか、その取り組みについて紹介された。具体的には、沿岸部地域向けの防災・減災に向けた取り組み、山間部地域における諸問題への取り組み。

日時 **8/6** (土) 13:00～16:00
講演・意見交換会

講師 **高橋 秀幸** 准教授
[東北学院大学 教養学部情報科学科]

場所 出島メッセ長崎 1F 会議室 108号室

参加者 **54名**(現地:12名/Zoom:42名)

IoT/AIが拓げる 次世代情報協働 栽培システムの可能性



HIROSHI MINENO

講演概要

長年の経験と勤に基づいて習得した栽培ノウハウは、IoTやAIの活用により効率的に伝承でき、新たな革新的農産物栽培方法の確立につながる可能性がある。熟練農家(いわゆる篤農家)の持つ暗黙知である「匠の技」をさらに洗練させ、革新的な情報協働栽培技術の創出を目指し展開中のプロジェクトについて紹介された。

日時 **10/29** (土) 13:00～16:00
講演・意見交換会

講師 **峰野 博史** 教授
[静岡大学 大学院情報学領域]

場所 長崎大学総合教育研究棟
2F 多目的ホール

参加者 **70名**(現地:22名/Zoom:48名)



参加者 PARTICIPANT'S VOICE の声

- 地震発生後の状況に対するシステムのため、道路や通信回線や電源系統が分断されている状況を想定した設計となっていることがわかり、感心しました。
- ドローンをういた災害対策について分かりやすく説明していただき、とても勉強になった。
- 地域課題の解決に向けたIoT等の活用は、人口減少社会への適応策になると、改めて感じました。
- 今回、福島県の地域課題や解決に向けた取り組みについて非常に分かり易くお話し頂き、とても参考になりましたし、今回の講座に参加できたことが非常にラッキーだったと思っています。
- 先端技術を学ぶ楽しみがある。
- 地域の課題を把握し、課題に対して得意領域で解決を試みる営みや、地域の方々と連携して課題解決を図る取り組みが素晴らしいと思いました。

参加者 PARTICIPANT'S VOICE の声

- しおれ検知センサの話を知っていると、やはり地道な努力や工夫の積み重ねが重要なのだと改めて感じさせられました。
- 日本の農業の現実とスマート農業を行う難しさを改めて知りました。
- 解説が非常に分かりやすく、また苦労されたことなど現場の生の声を聞くことが出来大変有意義な講座でした。
- 現在注目をあつめている農業IoTについて、なかなか知ることのできない実践と理論の両面から解説いただき、大変参考になりました。
- 基本的な用語説明から、開発者の取り組み実績や課題等、内容が豊富だった。
- 考え方や進め方など様々なアイデアとノウハウを聞くことができた。農業でフィルタせずに聞いた方はどんな業種でも有用だったと思います。

テクノ・スクランブル

日時 各日程 18:00~20:30

全7回

ファシリテーター 小林透 教授・尾崎友哉 教授

テクノ・スクランブルとは、「Technology」と「Scramble」を掛け合わせた造語で、技術と人との交流を目的としています。毎月変わる講師陣の研究テーマに沿って理解を深め、長崎ならではの情報データ技術活用について意見交換する受講生参加型の講座です。そのため、異業種の方との交流や人脈を広げられる機会となり、アイデア創出の場となりました。

ゲスト講師 [専門分野]一覧

GUEST LECTURER



松本 拓高 准教授
HIROTAKA MATSUMOTO

バイオインフォマティクス、ゲノム生物学、機械学習

講座日 6/17(金)



瀬戸崎 典夫 准教授
NORIO SETOZAKI

教育工学、科学教育、ユーザーインタフェース

講座日 10/14(金)



持田 恵一 教授
KEIICHI MOCHIDA

ゲノム情報科学、バイオデータベース、遺伝育種学

講座日 7/15(金)



金谷 一郎 教授
ICHIRO KANAYA

デザイン学、文化財科学、文化人類学、メディア芸術

講座日 11/18(金)



植木 優夫 教授
MASAO UEKI

統計科学、生物統計学、遺伝統計学

講座日 8/5(金)



神山 剛 准教授
TAKESHI KAMIYAMA

モバイルコンピューティング、情報センシング、データ科学、分散システム

講座日 12/16(金)



受講生

STUDENT VOICE

の声

- 人の知覚特性が意外とあまいでそれを逆に利用する発想が面白いなと思いました。
- リモートでも十分に参加でき、意見の交換ができたのが素晴らしいと思いました。
- VRなど刺激的内容でとても面白かったです。
- 後半の質疑応答が、とても面白く、有意義だった。
- いろんなITの人たちが集まっているので、横の繋がりがITに対しての知見が広がってすごく有意義。
- 経験も知識も豊富な現役研究者のお話を聞き、直接質疑応答のやりとりができる機会はとても貴重だなと思いました。

成果発表会

日時 **1/27** 金 15:00~18:00 | 場所 ホテルセントヒル長崎 2F 妙見の間

参加者 53名(現地:21名/Zoom:32名)

受講生代表4名による学修成果発表

AIを活用した『図書室管理サービス』の開発

株式会社
メトロコンピュータ
サービス
市古 善敬 様
YOSHITAKA ICHIKO



100%文系だが、
エンジニアと話が
できるようになった

長崎でITリカレント講座を受けて 得られたものとは？

株式会社クラスタス
神崎 健輔 様
KENSUKE KANZAKI



小林先生との出会い
→受講
→面白かった

コンテンツ制作における マネジメント力についての考察

Net Warriors
下条 優衣 様
YUI SHIMOJO



様々な分野の方々と
意見交換ができた

街づくりのための人づくり

京セラ
コミュニケーション
システム株式会社
能見 純一 様
JUNICHI NOMI



共に学び、
共に働く仲間作り
→自身や長崎の
大きな成長・発展に
つなげていこう

長崎県知事 大石 賢吾氏によるビデオメッセージ(一部抜粋)



講座を受講された皆様におかれましては、ご多忙の中、それぞれ目的意識を持って受講され、本日の成果発表会に臨まれていることにまず敬意を表したいと思います。九州内でも本県独自のものであり、この講座で取得した知識や技術を活かして、大学との共同研究や誘致企業との共同プロジェクトにつながり、新たなサービスが開発されるなどの成果も生まれてきております。今後も講座を受講された皆様が、企業の中核を担う人材としてご活躍され、本県の情報関連産業を牽引していただくことを期待しております。

成果発表・意見交換会の様子



基調講演 アメリカにおけるNTTの基礎研究の取り組み ～世界をリードする基礎研究を目指して～

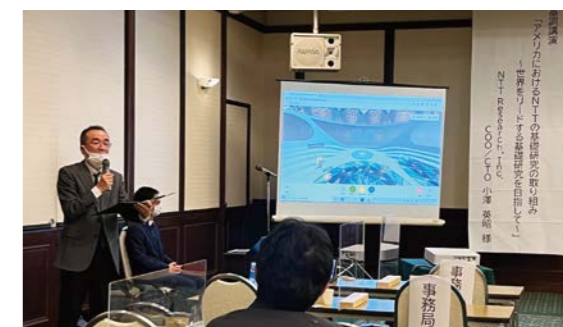


HIDEAKI OZAWA

NTT Research, Inc. COO/CTO 小澤 英昭 氏

講演概要

2019年にシリコンバレーに設立されたNTT Researchは、大学をはじめとした世界中のパートナーとの共同研究などにより、20年後30年後の世界にインパクトを与えられるような量子コンピュータ、暗号、医療情報処理の基礎研究に取り組んできている。NTT Researchのビジョンと、この3年間の取り組み状況について概説された。



参加者

PARTICIPANT'S VOICE

の声

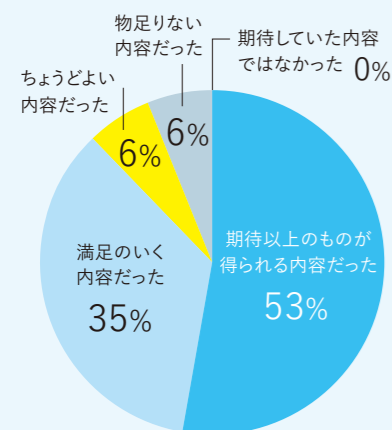
- 卒業式のような感覚もあり、一旦皆さんと最後かと思うと、寂しい気持ちにもなりましたが、受講できた達成感もありました。
- 普段得る事のできない気づきや体験、出会いがあってよかったと思っています。
- 基調講演については最先端でご活躍されている方のお話とあって、大きな学びとなりました。
- あっという間のひと時で、地元を牽引する力を感じました。
- 発表者の皆さんの目の輝きに、こちらも聴き入ってしまいました。私も長崎のために何かできないか考えるきっかけになりました。

受講生の声 ~アンケートまとめ~

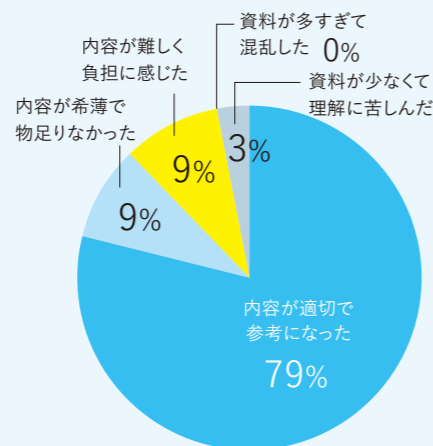
授業の様子

IT講座を受講して…

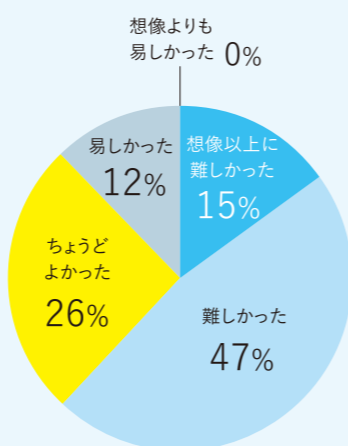
Q1 授業内容は
いかがでしたか。



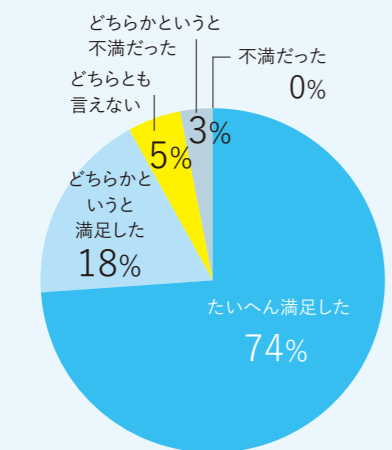
Q2 授業スライドや
資料はいかがでしたか。



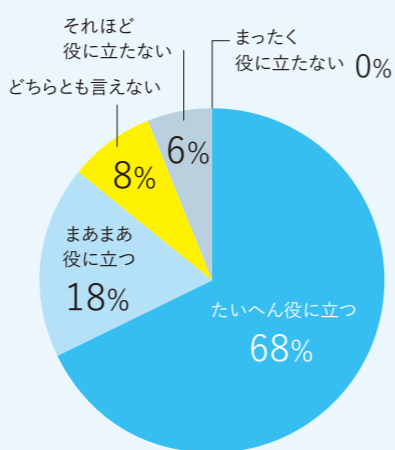
Q3 授業の難易度は
いかがでしたか。



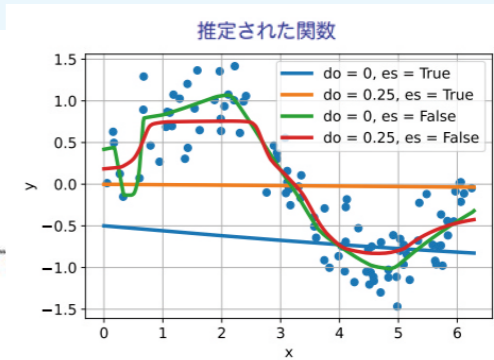
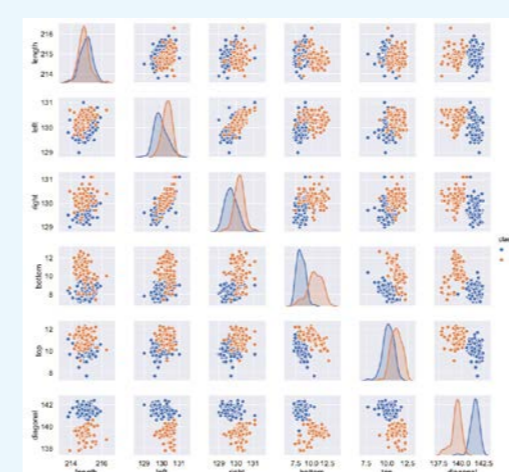
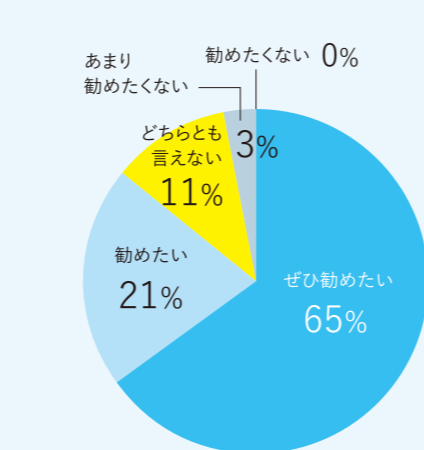
Q4 授業の満足度は
いかがでしたか。



Q5 今後の仕事に
役立つと感じましたか。



Q6 今後、興味を持ちそうな知人や
友人、会社の上司や同僚に、
受講を勧めたいですか。



アンケートまとめ

アンケートまとめ

Q7 受講するにあたって、
苦労された点は？

- 仕事をその時間で切り上げることが一番苦労した。
- 時間の確保が難しかった。
- 他の受講生と知識等のレベルが違いすぎたため、ついていくのが精一杯であった。
- 開発知識が弱かったので、プログラミング段階で苦労した。
- IT関連の用語などもわからないため、受講後に調べることが多かった。

Q8 受講するにあたって、
工夫された点は？

- 授業動画視聴により業務との両立を図った。
- 「質問を必ず一つする」という課題を自分に課して講義に臨み、より集中して参加できた。
- 講義の中で、自分の考えを発表して周りに伝えることで理解を深めることが出来た。
- 講義で分からないことがあったときは講義が終わったあとに調べるのではなく、積極的に質問をして、授業をその場で理解しながら聞く方が勉強になると思った。

未来の

TO FUTURE STUDENTS

受講生へ

- 新しい知識を習得してください。
- ITに詳しくなくても、少しでも興味があればまずは受けてみてほしいです。聞いたことある、見たことある、が次につながっていくと思います。
- 現場担当者・管理層どちらのステージで受講されても非常に良い経験を積めます。また、様々な人との出会いは財産になります。
- 怖がらずにどんどん発言することで、自身の理解や他者への気付きにつながります。また知識習得だけにとどまらず、講師や事務局、他の受講生との新たな関係性を構築する場にも活用すると良いと思います。
- いろいろな会社、いろいろな業界や幅広い年齢層の受講者がいるため、多様な考え方や意見が聞けることが一番の魅力だと思います。
- 少しでも興味が湧いたら、迷わず受講申込すべき!! 最高の先生方、仲間と出会えます!